



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 ●組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・上下柵に張付けてあるコーキングシーラーが、方立の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- ・縦柵両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上下柵の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■組立て上のお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 本製品は組立て後の製品重量が最大で約50kgになります。組立ておよび運搬は、対応する人数で行ってください。
- 柵の取付けは、「柵取付け説明書」をご覧ください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 室内側アングル部の開きや段差(組ズレ)がでないよう、室内側からねじ止めしてください。
- ねじ部破損防止のため、方立と方立取付け金具は組立て穴を合わせてからねじ止めしてください。
- 本製品は下柵にブラケットが固定されています。保管される場合は、ブラケットで床などをキズつけないよう養生をするなどしてください。

■組立て部品一覧表

①	㊦	㊨	㊩
方立取付け金具	トラス小ねじ M4×10	バインド小ねじ M4×14	バインドタッピンねじ φ4×30

■組立て順序

■柵の組立て

※室内側・室外側の向きを合わせて各部材をねじ止めします。
※組立て説明書のイラストは2枚建(L)の場合を例で示しています。4枚建の場合、方立は2本になります。方立は樹脂とアルミ端部が広い方を上にして組んでください。

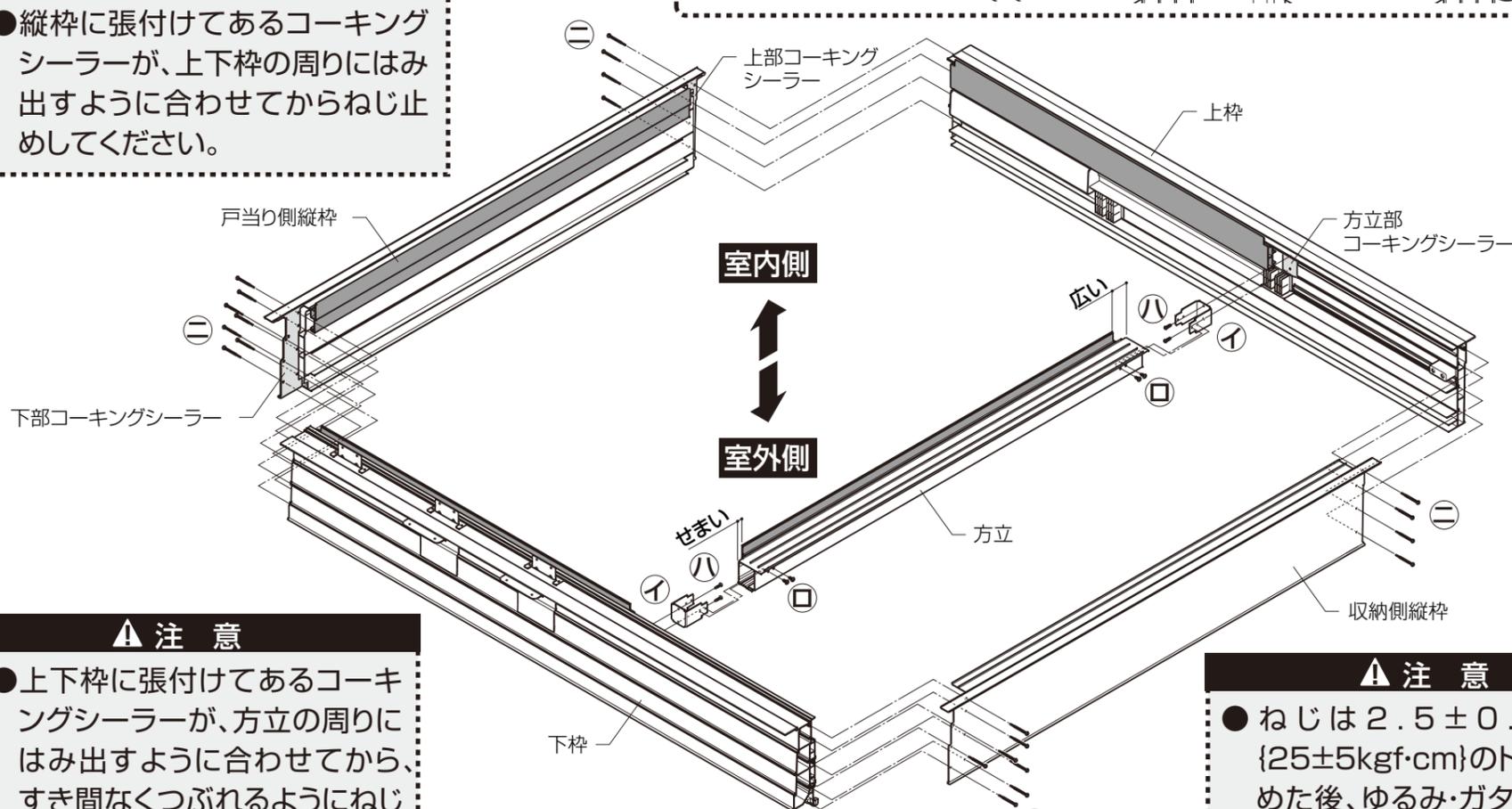
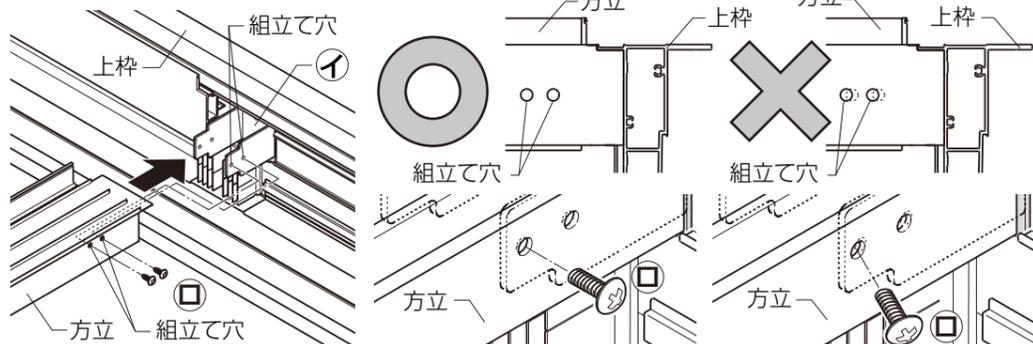
- ① ①方立取付け金具を上下柵の方立部コーキングシーラーにあててねじ止めします。
- ② 方立を ①方立取付け金具に差込み、金具のタッピン穴が完全に見える位置まで上下柵に押付けた状態で、ねじ止めします。
- ③ 縦柵を上下柵にねじ止めします。

▲注意

●縦柵に張付けてあるコーキングシーラーが、上下柵の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

お願い

※ねじ部破損防止のため、方立と①方立取付け金具は組立て穴を合わせてからねじ止めしてください。



▲注意

●上下柵に張付けてあるコーキングシーラーが、方立の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。

▲注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。